

香澄小学校の「かすみ学びフェスティバル」に参加しました 日本語学習者が児童の研究発表をサポート

白川 新（日本語教室部会）

日本語教室部会では「世界を知ろう」サポートプランとして、市内小学校児童と日本語学習者との交流を図ってきました。従来は年1～2回学校のお祭りなどの催しに参加して、児童や学校関係者に喜ばれてきました。

この1月28日（木）には香澄小学校からの依頼を受けて、小学6年生の総合学習成果を発表する「かすみ学びフェスティバル」に有志の皆さんで参加しました。

フェスティバルは6年生64名が「世界の国々と日本のつながり」をテーマに、8ヶ国についてグループ毎に人口、言語、食、遊びなどを研究し発表を行うというもので、父兄にも公開されました。

外国人は児童の研究を支援するという形ですが、衣装、玩具等の展示説明や挨拶・ジャンケンなどのパフォーマンスを期待されていました。

当日は平日のため、参加できる外国人の募集に苦労すると思われましたが、都合6ヶ国10名の外国人とボランティア17名が参加し、支援することができました。

会場は学校の体育館に8個のブースを設け、それぞれ国旗を表示し、パソコンを駆使して各グループ毎に発表を行います。

各グループの発表は20分ですが、全員が発表を行うことから各グループは都合4回ずつ児童や父兄などの観客の前で発表をします。

当日はやや寒く、大きなストーブを点けて暖をとりながらの発表となりましたが、児童たちの熱心な発表に、しばし寒さを忘れるほどでした。参加の外国人も児童の質問に丁寧に答えるなど懸命に支援をしてくれました。児童と共に遊技をするグループや中国武術の演技披露がある一方、シャトルに似た中国のチェンツやブラジルのペテカを使つての遊び、



アメリカの発表グループ



タイの発表グループ



中国の発表グループ

それぞれの国のジャンケン指導など、珍しいパフォーマンスに児童たちは大喜びで、見学の父兄も共に楽しんでいました。

最後に児童たちと記念写真を撮った後、児童代表からお礼の言葉と全員から感謝の挨拶をうけて体育館を後にしました。さらに別室では校長先生、担任の先生からもお礼の言葉を頂きました。

今回は学校の授業の一環に参加でき、大変有意義な約2時間でした。このような形で「世界を知ろう」サポートプランが受け入れてもらえるようになればと願っています。



フィリピンの発表グループ



お礼の言葉を述べる児童代表



児童、学習者、ボランティアが終了後記念撮影